

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社
 代表者名 執行役社長 中田 誠司
 (コード番号 8601 東証・名証(第1部))

2020年度 大和証券グループ経営方針 ～ Passion for the Best ～

「令和」の新時代の幕開けとなった2019年度は、証券市場においては激動の1年となった。米中貿易協定の第一段階合意や、Brexitの不透明感が後退したこと等に伴い、株式市場も一時、バブル崩壊後の戻り高値に迫る回復を見せた。しかしながら、年明け以降は新型コロナウイルスの世界的な感染急拡大が、世界経済と国際金融市場を激しく揺さぶり、混乱の中で株式市場も大幅な調整を余儀なくされた。

世界がこれまで経験したことのないような危機に直面する中、多くのお客様は先行きへの不安を抱えている。この様な時こそ、117年もの長きに亘りマーケットと真摯に向き合ってきた当社グループが、これまで培ってきた経験とノウハウを最大限に活かす局面である。

資産運用や資金調達に係るお客様の不安に真正面から向き合い、まずはその対応に最善を尽くす。その上で危機の先を見据え、お客様の中長期的なライフプランの設計、企業の持続的成長の実現に向けて、徹底したコンサルティング提案に務める。またハイブリッド戦略により、お客様に対して新たな価値を提供することで、グループ収益の多様化と安定化を図り、持続的な成長を目指す。

今般の危機対応を契機として、世界的に働き方改革やデジタル化の進展が加速しており、産業構造のみならず社会全体が変貌を遂げようとしている。歴史的転換点に立つ今こそ、大和証券グループは「未来を創る、金融・資本市場のパイオニア」として、新たな価値を提供すると共に、SDGs達成に向けた共通価値創造を通じ、サステナブルで豊かな社会の実現に貢献していく。

各事業部門のアクションプラン

リテール部門

1. プリンシプルベースの営業体制の構築
2. お客様のあらゆるニーズに応える魅力的な商品・サービスの開発、ソリューション提案の高度化
3. 外部チャネル・外部リソースを活用したビジネス展開
4. 収益構造の転換、コスト構造の見直し

ホールセール部門

1. 企業の高付加価値化を促進
2. お客様ニーズを捉えたプロダクト・サービスの提供
3. 事業構造や日本の産業構造転換を支援
4. アジアのリージョナル・ブローカーとしての汎アジアビジネスサポート

アセット・マネジメント部門

1. 既存ファンドのプロモーション強化、新ファンドの戦略的投入によるヒット商品の育成
2. 販売会社拡大等を通じた資金純増の実現
3. 戦略別運用チーム体制への移行、運用解析チームの新設等による運用力の強化
4. 不動産を中心としたオルタナティブ投資商品の拡大

投資部門

1. 新規産業の発掘・育成によるファンド・エコシステムへの貢献
2. アジアへの投資拡大
3. 社会的意義のある投資対象の開拓
4. 運用力の更なる進化による投資リターン追求

その他(大和総研グループ)

1. ハイブリッド型総合証券グループのシンクタンクとして、グループ連携によるビジネス強化へ貢献
2. デジタル化により加速する社会の変化に対応した経済・金融における先見性の高い情報発信
3. お客様ビジネスの競争力強化へ貢献するソリューションの提供
4. 先端技術の活用による「新たな価値」の創出を通じたビジネスの拡大

その他(大和ネクスト銀行)

1. 証銀連携による顧客本位の商品・サービス展開
2. グループ全体の将来的な収益基盤構築に向けた仕組み作り
3. 市場環境の変化に即応可能なポートフォリオ運営
4. 健全な利益の確保を通じた持続的成長